

# 不二速報



今年もよろしくお祈りします

発行日 2011年1月13日

第8号 スキーと温泉の集い報告号

## 2011年の闘いの方向性について

執行委員長 芳賀 直哉

毎年の新年号には委員長の年頭あいさつ文を掲載する慣わしで、原稿を書いています。

各労働団体はこの時期「旗びらき」があり春闘方針の討議が始められますが、静岡大学の職員組合ではこの慣行はないので、仰々しいことはしてきませんでした。しかし、ことしは、昨年末に「3年雇止め」見直し原案が当局から示され、これに関連して年明け早々から人事労務課との交渉をはじめています。

昨年11月に行った2010年人事院勧告への対応をめぐる団体交渉の結果は決して満足できるものではなく、力量不足を痛感しました。組合員の漸減に一定の歯止めがかかったとはいえ、組織率の大幅改善には程遠い現状において、こんご当局と実効性ある交渉を進めていくためには以下の方向性が重要だと考えます。

1) 法人化により任意職員団体から争議権を有する労働組合となったことの武器を有効に活かす取り組みが求められる。特にわれわれ職員の賃金や待遇改善にかかわる要求を掲げて闘う場合には、事前に「スト権を確立し」これを 圧力として交渉しなければ、獲得できる果実は小さい。昨秋、企画調整会議等で人件費5%ないし7%削減案が示され、教授会等で混乱があったと聞いているが、次年度の最終的政府原案では運営費交付金は前年度比0.5%減と報道された。役員会のミスリードだったことになる。しかし、財界・マスコミ・世論の公務員人件費削減圧力は強く、政権党も大幅減方針を掲げており、将来的には楽観できない情勢にある。このような状況下、賃金等の確保のための強力な交渉力を持つことがますます重要となる。

2) 各年度の中央執行委員会役員を選出時期の前倒しが必要となる。例年、1月末に選挙管理委員会が設置され、支部からの推薦依頼をしているが、次年度の役員候補が出揃うのは大体3月中下旬となる。部内や全学の委員会委員の割り当て時期とも重なって、新年度組合役員や支部役員への依頼をする現支部役員のご苦勞・負担が大きい現状を少しでも軽減する必要がある。

本年もどうぞご支援・ご協力のほどよろしくお祈りします。

静岡大学教職員組合  
<http://www.jade.dti.ne.jp/>  
~suu/

静岡：  
〒422-8529  
静岡市駿河区大谷 836

TEL/FAX:  
054(236)0173 (直)  
2790 (内線)

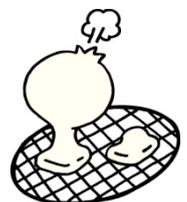
E-mail  
suu@jade.dti.ne.jp

浜松：  
〒432-8561  
浜松市中区城北三丁目 5-1

TEL/FAX:  
053(475)9035 (直)  
3910 (内線)

E-mail  
suu-seibu@vcs.wbs.ne.jp

目次：	
執行委員長年頭挨拶	1
スキーと温泉の集い報告と感想	2.3
組合行事についての報告	4





## 今年も楽しかった スキーと温泉の集い

### 2010.12.25 夜~28 長野・野沢温泉スキー場

今回は何の事件もなく、29人という空前(絶後?、笑)の大人数で楽しく行ってきました。ご家族での参加が7家族あり、中学生以下のお子さんが6人と賑やかでした。

残念ながら雪不足でスキー場の半分くらいしか滑れませんでした。野沢温泉は広いスキー場なので、皆さん、初滑りを満喫していただけたと思います。

トップのやまびこゲレンデは雪質最高のうえに絶景、広い上ノ平ゲレンデ・パラダイスゲレンデは初級者天国、隠れ家のように静かな湯の峰ゲレンデ・水無ゲレンデも印象的でした。

お天気も晴→曇→晴とスキー場には上々、妙高連峰や戸隠の山々が美しい。

ゲレンデサイドの宿には温泉情緒たっぷりの内湯があり、日ごろの疲れを癒せました。今回も幹事の吉村書記夫妻のマジックに拍手喝采、その後も、お子さんたちは手品教室に盛り上がってました。

来季は、12月下旬の天皇誕生日3連休を予定しています。ぜひご一緒しましょう!

#### 参加された皆さんの感想・・・

 今年も根本先生のおかげで、スキーを楽しむことができました。少しずつ体力が衰え始め、三日間のスキーはきつくなってきましたが、組合のスキーが続く限り、参加したいです。(体力が続くか?)



 樹氷がきれいだよの言葉に誘われて、毛無山の頂上まで登った。すばらしい眺めに暫しうっとり。登ったからには下らねばならない。苦労しながら時間をかけて中腹まで・・・。

このスキー場は様々なコースがあり、下手な私でも十分楽しんで滑ることができた。疲れた体は温泉で・・・。夜の吉村夫妻のマジックで参加者の心が一つになった。良い天候、場所、そして同行者、楽しいスキー旅行だった。

根本先生、吉村さんありがとうございました。

 今年初めて参加しましたが、大変思い出になるスキー旅行になりました。

子供は初めてのスキーで、最初うまく滑れなくて苦労しましたが、安田先生を始めみなさんに教えてもらって徐々に滑ることができ、最後は自ら「もう1回滑りたい」と言って先頭に立ってリフト乗り場に行っていました。子供に負けないように頑張らなくちゃ。来年から年末の行事の一つになりそうです。



スキーたのしかったよ。

またいきたいよ。

きょうはりすとか

みれなかったけど

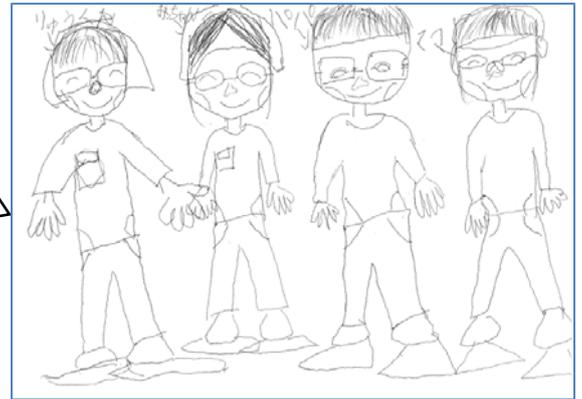
うさぎのあしあとは

みれたよ。





2日かんスキーをして1日おんせん  
 に来てきて楽しかったです。  
 スキーはひさしぶりだったけどどうま  
 くすべれました。すこし上のほうに  
 いてすこしこわかったです。



組合スキーとして野沢温泉スキー場は初めてで  
 はないかと思う。バスを降りた所の「館でんべえ」が  
 宿舎と思ったら、そこから歩いてリフトに乗った。高  
 いリフトは恐ろしいやら、素晴らしい景色が見えた。

初日は快晴、2日目は雪、3日目は快晴と2日半滑  
 ることができた。毛無山の頂点の樹氷はすばらしく何  
 枚も写真を撮った。

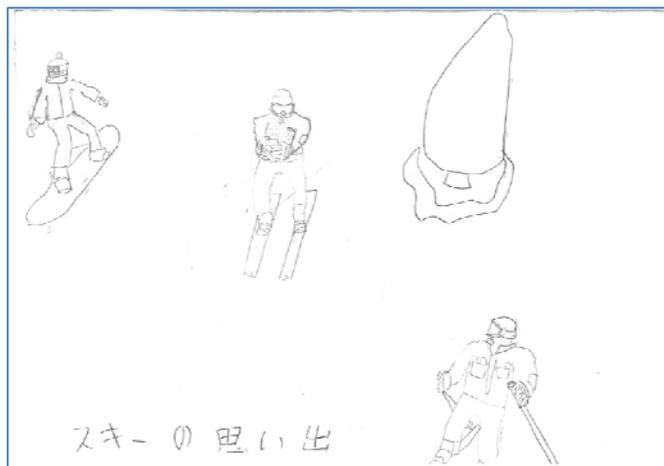
安田さんが中国の2人のレッスンをされ、彼らがス  
 キーを好きになったのが今回の大きな成果といえる。  
 根本さん、吉村さん、安田さんに感謝、感謝。

心配していた積雪も上部毛無山では最高の  
 雪質で滑ることができました。

毎回お世話をいただく幹事さんにはお礼を申し  
 上げます。

今回風邪気味でのどが痛んで苦労しましたがさ  
 すが3日目は疲れが重なりギブアップでした。

もう無理が利かない年齢を自覚して、大事に滑ろ  
 うと思います。これからもよろしくお願ひします。



### 四年ぶりのスキー

現地参加だったのだが、前夜の新潟地方の大雪  
 のため予定していた列車が運休になり、大幅に到  
 着が遅れてしまい、初日は滑ることができなかつ  
 た。

野沢は20年以上前に数回訪れたことがあるが、  
 グレンデの様子がすっかり変わったのかコースが  
 全然わからなかった。

あちこち筋肉痛ですが、楽しい時間を過ごすこ  
 とができました。ありがとうございました。

今回も職場の理解があつて、大掃除もせずスキー  
 に参加させていただいた。

初めての野沢温泉スキー場は、晴天に恵まれ、ブナ  
 の白い枝が輝く中、風を受け滑り下りると、遠くに雪  
 の山々が望め、素晴らしいスキーが楽しめました。特  
 に、スキー後の温泉や夕食後のマジックショーと楽し  
 い企画もあり、参加者のみなさんと存分に3日間を楽  
 しみました。また、来年もよろしくお願ひします。

3日目滑らなかったのは初めて  
 です。いつもぎりぎりまで滑るのに！

温泉街をぶらぶらし、  
 外湯に浸り、おやきを食  
 べ、お土産を見てのん  
 びり、こちら楽しい  
 旅行でした。



## 12/15 浜松キャンパス年末恒例の「平和と文化の集い」 今回は「おでんと焼き鳥 de トーク」と題して開催されました。

組合員手作りのおでん、焼き鳥、とん汁、おしるこ・・・そしてビール！  
餅つき、マジック、太極拳、合唱、チェロ・・・など楽しい催しになりました



## 12/17 職種別懇談会を行いました (人文学部支部)

人文学部支部の職懇を、今年度はL棟の職員の皆さんを中心に、開催しました。

12月17日(金)のお昼休み12:30より、予定の13:15を少し上回って、L棟ゼロ階の講師控室に、学務係より7名、教室事務より2名、支部委員および中執より6名の合計15名が集いました。人文支部の職員には組合員は極小なため、いわゆる職懇としては、ほとんどが初顔合わせだったのですが、岩井支部長の和やかな司会のもと、率直かつ熱心に課題や問題点などが提起され、有意義な小一時間となりました。

人文・学務係の抱える困難は、一にも二にも「夜間主開講授業」への対応とそれに伴う夜間勤務です。

- ★夜間主ローテは、1ヶ月に1～2週間の割合で回転！
- ★超勤の実態は、現実の業務が午後9時に終了することはないため、手当の「上限」をはるかに超えている。  
⇒芳賀委員長より：部局ごとにリジッドな上限が設けられているわけではないので、正確にメモをとって組合へ提出してもらえれば、サービス残業として人事労務課に改善を申し入れ超勤未払い分を請求することが可能。

- ★昼間の半分以下の事務員数で対応するため、本来の担当業務外の役割分担もしなければならず、大変な上に、学生サービスとしても精度が落ちる。
- ★土曜勤務の代休を平日に取る仕組みのため、担当業務消化のため、帳簿上の代休日に出勤しなければならないケースが多い。

★事務が二手（人文棟の総務係と共通L棟の学務係）に分かれてしまったため、夜間主勤務が学務係事務員にのみ回ってきて、ローテの母数が半減。

★授業終了の午後9時には、情報基盤センターも保健センターも閉庁となっており、学生へも皺寄せ。

★大学は剰余金を駐車場整備等の施設経費でなく、超勤手当に回してほしいというのが切実な要求。

ベテランの事務職員からは「夜間主を抱える人文学務特有の困難さが全学的な理解を得ていないのが大きな問題」とのコメント、支部委員からは「1週間連続で夜勤は、生活リズムが狂ってしまわないですか」の悲鳴があがっていました。

ご多聞に漏れず、非常勤職員の「一律3年雇止め」問題も抱えています。

職員の職場環境を、改めて実感できた懇談会。話しは尽きず、またの機会をと願っています。

## 1/13 浜松キャンパス三部局長との懇談会 (ランチ de トーク)を開催しました。

(工学部支部&情報学部支部)

今年度「ランチ de トーク」と称して、各種懇談会を開催し、現状の問題点や要望などを話し合ってきました。それぞれの職種の皆さまの生の声を部局長の皆さまに知っていただく有意義な懇談会になりました。

## 本年度退職される皆様へ

\*まずは書記局までご連絡ください\*

- ◆「教職員共済」 ご加入の方：こちらから書類をお送りします。その用紙でお手続きをお願いします。
- ◆「労金」「全労災」 ご利用の方：お手続きをお忘れなくお願いします。